

まいど!

元 気 組 合



Vol. 1

## 大阪機械卸業団地協同組合

クラウドを活用した『入札会売れ筋情報  
見える化システム』を構築しました！  
－機械工具入札会「新電子入札システム」－



川上佳夫理事長

### ▶ 組合について

当組合は、昭和42年に決定された都市計画の「東大阪流通業務地区」に大阪市内の今里、谷町、立売堀など過密市街地に立地していた工作機械・機械工具の卸売業者が、店舗の狭隘化・交通事情の悪化などを解消するとともに、事業の共同化を通じ経営の合理化・近代化など抜本的に組合員の体質改善を図る目的で設立された流通業務団地です。

組合員は、機械を構成する部品や金型を加工する「工作機械商社」(48社)、切削工具、作業工具、測定工具などの「機械工具商社」(41社)、ねじやボルト、ナットなどの「鉚螺商社」(6社)、ベアリングやベルトなど機械設備に欠かせない「部品商社」(10社)の専門商社105社が集まり、マシン&ツールの一大流通拠点として国内最大規模を誇っています。

組合事業は、組合会館、共同展示場、共同駐車場の共同施設を有しその運営管理の他にガソリン共同購買事業、高速道路共同利用事業などの共同事業、組合員従業員向けの福利厚生事業、教育・情報提供事業など

を行っています。

その中でも、共同展示場での中古工作機械の常設展示や毎年4回開催している機械工具入札会は組合主力事業の一つで「機械団地」ブランドとして国内外から多くの支持を得ています。

組合としては、共同展示場での中古機械の常設展示での小間貸し収入や機械工具入札会の手数料収入が安定収入として組合予算全体の50%以上を占め組合事業推進に大きく寄与しています。



### ▶ 機械工具入札会と新システム構築について

当組合の主力共同事業の一つである「機械工具入札会」は設立以来50年近くの歴史があり、毎年4回開催し、1回当たりの下見期間中の来場者数は2千人を超え、落札(売上)が1億円を超える規模の中で、出品点数も3千点近くとなっています。

入札会利用において、「出品場所が分かりにくい」「探している商品が見つかり難い」「同種の商品と比較・検討できにくい」などの意見が多く寄せられ、また、組合員からは「ユーザー(メーカー)アクセス情報(どの商品を何回見たかななどのビックデータ)の解析ができていないのはもったいない」との声もあり、更には、組合員の商売にとっても入札会の売上が大きなウエイトを占めている中で、大規模災害や障害が発生したときのセキュリティ対策が取れていない状況がありました。

そこで、ユーザーに対しては分かりやすく、検索しやすい仕組みにし、組合員に対してはアクセス内容の収集・分析ができることで営業支援に繋がる情報提供や、災害や障害のリスクヘッジ、セキュリティ強化を目的にクラウド上にシステムを構築することとなりました。

そこで、既存の電子入札システムをベースに、クラウド上に下記の新機能等を構築しました。

1. ユーザー向け画面では「ジャンル別表示」「出品位置情報」等により、出品情報をわかりやすく表示。
2. ログ解析・集計システムでは、ユーザーがアクセスした内容について収集・分析、可視化し、それを組合員に還元することで戦略的に出品が可能に。
3. 人工知能（AI）の機械学習手法を活用し、ユーザーへはアクセスデータを元に嗜好にあった情報や、組合員へは入札率予想等、落札（売上）に結びつく情報を提供。



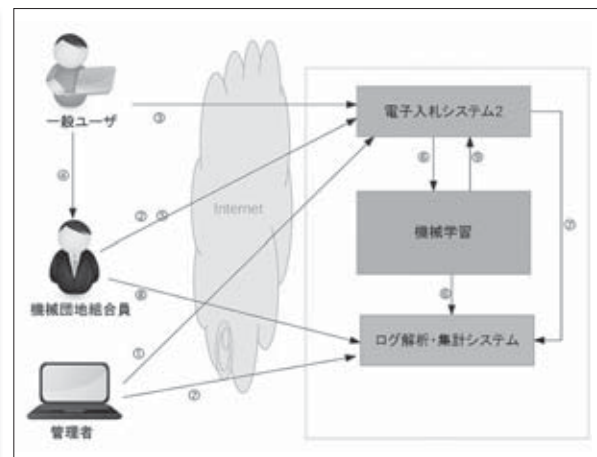
第2展示場

### ▶ 新電子入札システムの特徴

クラウドを活用したシステムの構築により、ユーザー目線でわかりやすく、検索しやすい機能となり、ユーザーのアクセス内容の収集・分析・還元が組合員の営業支援に繋がる情報として提供できることとなりました。またデータのバックアップ体制が強固となり、災害・障害などへの対応が容易になりました。



第1展示場



システム全体イメージ

### ▶ 組合の今後について

機械工具入札会のユーザーである国内製造業者は、海外移転や廃業などで縮小傾向にはありますが、中古工作機械・機械工具などのニーズは旺盛で、ニーズにあった商品をより多く出品すれば、機械団地の機械工具入札会はまだまだ大きく展開するものと確信しています。今回の「新電子入札システム」がその発展に大きく寄与することを信じて組合員一同システム普及に取り組んでおります。

#### ■大阪機械卸業団地協同組合

住 所：〒578-0965  
東大阪市本庄西2丁目5番10号  
電 話：06-6747-7521

理事長名：川上 佳夫  
組合員数：105人  
業 種：工作機械等の流通業務団地